

第1学年音楽科学習指導案

平成23年9月21日(水) 第6校時

第1学年C級(男子20名, 女子20名)

指導者 末廣 梨沙



1 単元 オーケストラの豊かな表現を味わおう

2 目標

- オーケストラの奏でる音楽のよさや美しさを味わいながら楽曲を聴くことができる。
- 各楽器の特徴や、その組み合わせによる多様な表現を味わうことができる。
- 楽曲の構成やしぐみを、楽器の音色や曲想の変化から理解することができる。
- 楽曲を形づくっている要素を理解して、曲の雰囲気を感じ取ることができる。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第1学年の鑑賞の内容(1)ーア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」、イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること」をねらいとして設定したものである。「ブルタバ 作曲スメタナ」は、連作交響詩である。交響詩とは、19世紀の中ごろに成立した、自然や文学的な内容などをオーケストラを用いて自由な形で描く音楽のことである。「ブルタバ」には、さまざまな情景が描かれている。これらに描かれている情景を思い浮かべて楽曲を聴くことは、イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること」に繋がる。このことによって、オーケストラがさまざまな情景をどのように表現しているのかに着目することができ、ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」に繋がる。
- 生徒たちは、以前にシューベルトの「魔王」の鑑賞の授業において、その楽曲に込められた思いを感じ取って聴こうとする積極的な姿勢が多く見られた。しかし、楽曲を形づくっている要素を理解して、曲の雰囲気を感じ取ることに関しては、これからの学習によるところが大きい。
- そこで本単元では、教材「ブルタバ」における各楽器の特徴や、その組み合わせによる多様な表現を味わったり、それぞれの情景をオーケストラがどのように表現しているのかを聴き取る活動を通して、オーケストラの豊かな表現を味わわせたい。また、作曲者であるスメタナの、楽曲への思いを感じながら鑑賞させたい。
さらに、単元の振り返りを行うことによって、これからの学習に活かしていこうとする意欲を高め、音楽に親しんでいこうとする心情が高まるようにしていきたい。

4 教材

- ブルタバ(モルダウ)連作交響詩「我が祖国」より (スメタナ作曲)

5 指導計画

オーケストラの豊かな表現を味わって・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

- (1) 楽曲やその背景について知り、オーケストラの楽器や配置について理解する。1時間
- (2) 作曲者が楽曲に込めた思いを感じ取って鑑賞する。・・・・・・・・・・1時間(本時)

6 本時の学習指導

(1) 目標

- 「ブルタバ」に込めた、スメタナのチェコへの思いを感じ取って鑑賞する。

(2) 資料及び準備

CD, LD, オーディオ機器, ホワイトボード, 教具, フラッシュカード, 写真, ワークシート

(3) 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 「ブルタバ」と「モルダウ」の二つの言語について考える。 ○ なぜ二つの曲名が記載されているのか考える。 ○ ドイツ語とチェコ語で記載されているのはなぜか考え、発表する。	○ 二つの曲名が教科書に記載されていることに気付かせるために、教師の説話をする。 ○ ドイツ語とチェコ語で記載されていることに気付かせるために、日本の楽曲に外国語の曲名も記した教材を提示する。	5分
2 本時の学習目標を確認する。 「ブルタバ」に込めた、スメタナのチェコへの思いを感じ取って鑑賞しよう。	○ 生徒が主体的に学習に取り組むために、本時の学習目標を設定し、確認する場を設ける。	7分
3 チェコの歴史における、300年にわたる隷属時代について知り、スメタナ自身が「聖ヨハネの急流」と「ビシェフラト」に込めたメッセージについて考える。 ○ チェコ王国について学習する。 ○ 「聖ヨハネの急流」を鑑賞する。 ○ 「隷属時代」の話を聞く。 ○ チェコの歴史を踏まえた上で、「聖ヨハネの急流」をもう一度聴き、なぜ激しい曲調なのか考え、発表する。 ○ 「聖ヨハネの急流」、「ビシェフラト」を続けて鑑賞する。 ○ 「聖ヨハネの急流」の激しい曲調のあ	○ チェコ王国が平和な国であったことを説明するために、絵などのカードを提示する。 ○ 「聖ヨハネの急流」の激しい曲調に気付かせるために、「聖ヨハネの急流」を聴いて感じたことをワークシートに記入する場を設定する。 ○ 「隷属時代」の恐ろしさについて知るために、具体的に何が起こっていたのか教師の説話をする。 ○ 曲調について考えるために、再度チェコの置かれた状況について振り返る場を設定する。 ○ 曲調の変化に気付かせるために、ワークシートに記入する場を設定する。 ○ スメタナが曲の雰囲気を変えたのはな	

と、曲調が変わるのはなぜか考える。 ○ 一番最後に、曲の雰囲気が変わるのはなぜか、スメタナが込めた思いは何だったのか推測し発表する。 4 「ブルタバ」を通して鑑賞する。 ○ スメタナがこの曲に込めた思いを感じ取りながら鑑賞する。 ○ チェコの歴史や、スメタナの思いを知った上で、楽曲を鑑賞した感想をワークシートに記入し、発表する。 5 本時の学習のふりかえりをする。 ○ 学習の流れの確認をする。	か考えるために、スメタナの思いを想像する場を設ける。 ○ 曲の雰囲気が変わるのはなぜかに気付かせるために、スメタナが求めたものは何だったのか考え発表する場を設定する。 ○ スメタナが込めた思いを感じ取って聴くために、チェコの美しい景色や自然の写真を掲示する。 ○ チェコの歴史とスメタナの思いを感じ取って楽曲を聴くことができたか知るために、感想を発表する場を設定する。 ○ 本時の学習の振り返りをするために、フラッシュカードを用いて振り返る場を設定する。	30 分 46 分 50 分
---	--	-------------------------------------

7 板書計画

ブルタバ (モルダウ)		「聖ヨハネの急流」 どんな曲調か	
目標 「ブルタバ」に込めた、スメタナのチェコへの 思いを感じ取って鑑賞しよう。		「ビシェフラト」 最初の旋律が戻ってくる	
チェコの置かれた状況について			
スメタナが伝えたかった思いとは何か			
		チェコの自然や風景の写真	
		スメタナの自画像	

ブルタバ（モルダウ） 連作交響詩「わが祖国から」 スメタナ作曲

2回目 ワークシート

1年（ ）級（ ）番

氏名（ ）

目標

「ブルタバ」に込めた、スメタナのチェコへの思いを感じ取って鑑賞しよう。

1 チェコの歴史について知ろう！

○ 「暗黒時代」って何？

（ ）世紀から（ ）世紀にかけて起こったチェコ民族の中で最も悲劇的な時代のこと。

○ 隷属の時代には・・・

チェコの人々は（ ）と（ ）を強要される。

2 「聖ヨハネの急流」を聴いて感じたことを書こう。

聴いていてどんな感じがした？

3 チェコの歴史をふまえた上で、「聖ヨハネの急流」の曲の雰囲気激しいのはなぜなのか考えよう。

4 「聖ヨハネの急流」と「ビシェフラト」を続けて聴くと、曲の雰囲気がどう変わっているかな？

「聖ヨハネの急流」では、チェコの置かれた（ ）や（ ）を激しい曲の雰囲気で表している。

途中で曲の雰囲気が明るくなるのは、チェコの苦難を乗り越えた（ ）を表している。

最後に、最初の旋律に返ってくるのは、（ ）の栄光がまた戻ってくることを願ったスメタナの思いが込められている。

チェコの歴史とスメタナの思いを知った上で「ブルタバ」を聴いた感想を書こう！